

ロッキーカレッジのご案内

【本当はこわい!お口の病】無料

むし菌や歯周病菌が影響を及ぼす全身疾患リスク(心疾患や脳梗塞、糖尿病)やドライマウスなど、最近のお口トラブルを中心にお話します。

日時:12/5(土)10:00~11:30
会場:葦山時代劇場
申込:ライフサポートセンターしずおか東部
TEL055-929-9820

講師:森野智子さん
(静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科講師)



【脳いきいき講座】無料

認知症の予防は普段の生活習慣から!認知症を正しく理解し、ならないさせない予防と秘訣を学びませんか。

日時:11/7(土)13:30~15:30
会場:長泉町福祉会館
問合せ:ライフサポートセンターしずおか東部
TEL055-929-9820

日時:11/29(日)13:30~15:30
会場:浜松労政会館
問合せ:ライフサポートセンターしずおか西部
TEL053-466-6307

講師:志村孚城さん(日本早期認知症学会理事長)
:奥山恵理子さん(日本認知症ケア学会評議員)

【ケアする人のケアを学ぶ会2015】

私たちが暮らす社会には、さまざまな困難を抱えた人々と、その人たちを支えている多くの人がいます。ケアする人のケアを社会全体のテーマとして考え、支えあえる社会を創っていくためのアイデアや実践を学びます。

○10/17(土)14:00~16:00

優しさと強さをとりもどして 生きていく
在宅ホスピスケアで学んだこと

講師:内藤いづみさん(ふじ内科クリニック院長)

○11/21(土)14:00~16:00

四苦抜苦(しくばく)〜一人称の死を考える〜

講師:高橋卓志さん(神宮寺住職)

会場:ALWFロッキーセンター 参加費:各回1,500円
申込:下記を明記のうえ、郵送・FAX・E-mailで
静岡県ボランティア協会へ
(氏名、性別、年齢、職業、住所、電話、FAX、e-mail)
〒420-0856

静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館2階
TEL:054-255-7357 FAX:054-254-5208
E-mail:evolnt@mail.chabashira.co.jp

ロッキーカレッジ開催報告

【東山家のもめない相続】

7/25(土)・8/1(土)

ALWFロッキーセンターにて、相続・遺言・成年後見制度について、司法書士 小林久晃さんより解説していただきました。相続は、財産の多少にかかわらずもめる要素を含んでいることから、後々のトラブルをさけるためにも事前準備が大切であることや、相続・遺言・成年後見はつながりのあるものなので、いっしょに考えてほしいと話しました。



【今からはじめる老い支度】

8/29(土)・9/3(木)

浜松・沼津労政会館にて、女優 藤田弓子さんを招き『いくなつても句』というタイトルでご講演いただきました。映画やドラマ、舞台での経験や、座長を務める伊豆の国市劇団「いづ夢」の活動に触れ、「年齢を重ねても心は歳をとらない。人生において心ときめいていることが句のあなたを生まれます。」などと話しました。



●「ALWF(アルーフ)ロッキーセンター」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先
公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会
ALWFロッキーセンター

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階
TEL 054-273-3000 FAX 054-272-7326



参加者募集

申込み先/054(273)3000

公開研究会

現代学生の経済的苦悩 ～奨学金とアルバイト

2人に1人が大学に進学し、多くの学生たちは奨学金を利用しています。そのため多くの学生たちは保護者の負担軽減、あるいは仕送りの不足分を補うなどの目的でアルバイトに勤しんでいます。ところが、従事するアルバイトの時間が異常に長くなるなど様々な課題が散見されています。公開研究会では、奨学金の問題を明らかにするとともに、学生たちの置かれている現状や問題点を広く学生・保護者・教育関係者の方々に知って頂く機会にしたいと考えています。多くの方のご参加をお待ちしています。

【開催日】 2015年11月28日(土)

【開催時間】 13時30分～

(受付開始13時00分)

【開催場所】 ALWFロッキーセンター

(公財)静岡県労働者福祉基金協会「大会議室」

【参加対象者】 一般

【参加費】 無料

【参加人数】 120名

【プログラム】

I部 13時40分～14時40分 基調講演

II部 15時00分～16時30分 パネルディスカッション

★基調講演講師

「ブラックバイトと奨学金問題から考える
教育の現状と課題」

講師/大内裕和(中京大学教授)



詳細は、<http://www.alwf.or.jp>で確認できます。



無料法律 相談会

静岡大学法科大学院で教鞭を執る弁護士が、約1時間皆様のご相談に応じます。法律に係る諸問題(相続、遺言、離婚、賃貸借、消費者被害等)でお悩みの方、お気軽にご利用下さい。

開催日:2015年12月5日(土) 会場:ALWFロッキーセンター

募集:13時00分・14時30分・16時00分 各時間3名計9名(事前予約先着順)

問合せ:ライフサポートセンターしずおか中部 TEL:054-270-3963(平日9:00~17:00)

★お知らせ★

詳しくは次号労福協
だよりでご案内します。

【生き抜く～南三陸町人々の一年～】【JAXAタウンミーティング】

2011年、東日本大震災津波襲来から28時間後、宮城県南三陸町に入った大阪毎日放送取材チームが800時間に及ぶ取材映像をまとめたドキュメンタリー映画「生き抜く」の上映会と制作プロデューサー井本里土さんの講演会を行います。
日時:2016/2/13(土)13:00~16:00頃
会場:グランシップ2階映像ホール

JAXA(宇宙航空研究開発機構)の宇宙航空分野専門家と参加者が、宇宙航空研究開発について語り合うイベントを行います。

日時:2016/3/5(土)13:00~15:30頃
会場:静岡労政会館6階ホール
登壇者・内容:未定

暮らし 何でも相談



日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。
お気軽にご利用下さい。

- ★暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
- ★豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、NPO団体等)
- ★相談は原則無料
- ★県内6箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル

受付は平日
9:00~17:00

東部:055-922-3715 西部:053-461-3715
中部:054-273-3715 中東遠:0538-33-3715
しだはいばら:054-646-6055 岳南:0545-51-3715

人物登場

地区労福協事務局長のリレートーク No.18

サイトウ ヒロシ
齊藤 弘

三島地区労福協 事務局長
出身組織：横浜ゴム労働組合 三島支部
役職：支部長

- ①趣味：妄想？
- ②モットー：話せば何とかなる
- ③最近感動したこと：甥っ子がTVに出ていたこと (^_^)v
- ④最近失敗したこと：携帯を替えたこと f^_^;

妄想ライダー
NOW!



本年6月の定期総会以降に、三島地区労福協の事務局長ということで仰せつかりました齊藤です。出身労組支部においては、昨年8月より現職を務めさせて頂いております。まだ、具体的に事務局としての仕事が出来ていない中で、このリレートークのお話があり少々困惑しておりますがよろしくお願いします。

さて、5月のことになるのですが、三島「楽寿園」のSL半世紀ぶりに汽笛の音、地元高校生が修復と夕方のTV番組の特集ということで紹介されていました。何気に見ていたら、なんとそこに甥っ子の姿が映っており「ビックリ!!」、そして何ということか、30名以上のご家族連れの子を前にして堂々とSLに関することについての説明をしている姿を見て、改めて驚きと共に少し見ないうちに随分成長していたのだな～と感動してしまいました (^_^)v

また話は変わりますが、昨年8月以降、特に近隣地域の皆さんには会議帯を含め、様々な場に於いてお声掛け・ご指導を頂きこの場をお借りして大変感謝申し上げます。その甲斐もあってか、連合の「2015平和行動in沖縄」への参加、単組になりますが「JAL安全啓発センター」の見学、全労済においても「2015年度 労済運動に関する啓発活動の実践」へ参加させて頂きました。

平和行動では、「戦後70年」、JALでは「日航機墜落30年」、全労済においては「阪神・淡路大震災20年」がそれぞれ経過したということの中で、その当時の現場・現物を目の当たりにしながら、案内役のガイドまたは語り部の方々がその時にここで何が起きていたのか、これからの私たちはこの痛くて辛い想いを教訓に、どのように生活・暮らしに活かして行けば良いのかを一生懸命に語ってくれておりました。様々な経験をさせて頂く中で、出来る限り多くの方々へ命の大切さなどをしっかりと伝えていければと思います。

それから昨年度は、諸先輩方が築き上げられた県労福協は50周年を迎えたことに敬意を表すると共に、その活動をしっかりと引き継ぐ中で、働く仲間と共に次世代へ繋げる活動に取り組んで行けたらと思います。

最後になりますが、一緒に同行させて頂いた皆さんには色々とお世話になり、同じ働く仲間として共有できたこと感謝申し上げます。しかしながら、唯一共有できなかったことが発覚!! 私だけが「ガラ携(LINE使えず)」ということで、今現在も新しい携帯と格闘中です f^_^;

※ いまはライダー復活! ? に向け、猛特訓? (妄想ダイエット) 中であります (^o^)/

運動継承!

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

4回シリーズ
その2

蒔田 延行 氏

現在81歳。静岡鉄道労働組合委員長をやりながら静岡市労福協の会長を務めた。一旦職場に戻り1992年に会社を退職。1995年に地区退福協に入会し、2000年7月～2012年6月まで県退福協の会長を務めた。趣味は川柳で今でも川柳教室に通って励んでいます。



労福協と私

静岡市に対しても労金本店営業部の沢田保部長、福島英夫課長と連携し、市民課を窓口①預託金の増額②住宅融資利子補給の増額③労福協への助成金の増額④勤労者への福祉向上のための支援などの要請を行い、その実現のための市の幹部との懇親会、市の担当者と同行して県外の勤労者対策の先進都市の視察を行ってきた。

折しも静岡市は八九年に市制施行一〇〇周年を迎えることから、静岡百周年事業のイベントとして、駿府公園を会場とした「駿府博覧会」を開催することとなり、私も市労福協代表として百年委員会委員に選任された。

そして労福協に対して前売券の販売についての協力要請がされてきた。

会としては、市に対して会の存在と組織力を示す絶好の機会であるとして、販売に応ずることとしたが、その枚数が大きく地区労福協だけの努力だけでは不可能であることから県労福協に対し支援・協力を要請した。

当時の県労福協の栗倉会長も快諾され、これを県労福協の活動の一環として取り組むこととして

いただいた。

その後、時には栗倉会長の同道を得ながら市の担当者と複数の「すんぷ博レディー」を同行させ、県内の各地区労福協事務局を訪問し、イベント内容の説明と前売券販売の協力をお願いしてきた。

「すんぷ博」は八九年三月一八日より約二ヵ月の期間中に約一〇七万人の入場者を集め、成功裡に閉幕したが、団体・企業による前売券販売数はJRの八万枚に次ぎ労福協は堂々二位の五万枚の成果をあげることができた。

この実績により、静岡市行政からは労福協が高く評価されることになり、その結果として会が要請していた①助成金は年間五四万円が九五万円に②労金へ預託金の大幅増額③勤労者福祉事業として毎年東京ディズニーランド旅行へバス五台分補助④勤労者の福祉と地位の向上のため多目的会館の建設(ラベック)⑤市長とも懇親会の定期開催等多くの成果を得ることができた。

また、市行政に関わる諮問機関である「静岡市特別職報酬等審議会」の委員に地区労福協代表が選出されることにもなった。

すんぷ博覧会と労福協